令和５年度

第５次総合計画　中期戦略事業プラン　事務事業評価シート

事業名	文化財情報発信事業			事業番号	13-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	教育部歴史文化推進担当	立花　実	教育総務課歴史文化担当	立花　実	

計　画　（Ｐｌａｎ）

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり
		施策展開の方向	6	いつまでも学び生きがいがもてるまちをつくる
		施策	13	歴史・文化遺産の活用と継承
予算事業名	文化財ホームページ情報発信事業費			
事務区分〔選択〕	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　(選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成20年度　～	終了年度	―
関連法令等	文化財保護法、伊勢原市文化財保護条例			
国・県の計画等			計画期間	
関連個別計画	伊勢原市第2期教育振興基本計画 伊勢原市文化財保存活用地域計画		計画期間	平成30年度～令和4年度
実施の背景 （事業を取りまく環境・市民ニーズ）	・高齢化の進展もあいまって、歴史や文化財に興味・関心を示す方々が増加しています。 ・IT社会の進展により、インターネットを利用した情報提供、収集活動が定着しています。			
目　的 （何をどうしたいのか）	・「いせはら文化財サイト」により、市域の貴重な文化財に関する情報発信を行い、文化財を通じた本市の魅力を発信します。			
主な対象 （誰・何を対象に）	市民等、文化財所有者、活動団体			
事業内容 （手段、手法など）	・魅力的なホームページとするため、適切な更新を行いながら、コンテンツの作成、追加を進めます。 ・英語版について、閲覧者の声を参考にして、修正を図ります。			

事業行程	項目	年度 令和3年度	年度 令和4年度
	文化財ホームページ内容更新・追加	掲載内容の更新・追加	掲載内容の更新・追加
	文化財ホームページの英語版作成	更新・修正	更新・修正

目　標	【指標名】	【現状値】	年度 令和3年度	年度 令和4年度
	文化財ホームページ新規コンテンツ数	3件（令和2年度）	4件	5件

事業実施（Do）

事　業　実　施　　（Ｄｏ）

事業の「取組方針」 （前年度事務事業評価）	・デジタル情報の特性を生かし、写真や映像を多用したビジュアルな内容、手軽でわかりやすく、使いやすいホームページを目指します。 ・新型コロナウイルス感染症に対応した文化財情報の発信方策として、インターネットを活用し、デジタル情報による文化財の紹介、情報発信の充実に取り組みます。

実施方法〔選択・記入〕				
	◉ すべて直接実施		○ 左記以外	
	☐ 業務委託	☐ 指定管理	委託先又は指定管理者	
	☐ 補助金		補助先	
	☐ その他		具体の内容	

実施結果	項目	年度 令和3年度	年度 令和4年度
	文化財ホームページ内容更新・追加	掲載内容の更新・追加	掲載内容の更新・追加
	文化財ホームページの英語版作成	実施	実施

実施した取組の内容	
	NHK大河ドラマに合わせて特設ページを開設し、市内の関連文化財の紹介を行いました。また、かながわ考古学財団と共催した公開講座では、講座の動画を配信サイトを通じて、同時配信しました。そのほか、文化財ホームページの情報更新、内容の充実に努めました。

目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度 令和3年度	年度 令和4年度
	文化財ホームページ新規コンテンツ数	3件（令和2年度）	7件	8件

コスト 年度		令和3年度　実績				令和4年度 実績			
事業費合計(a)				22	千円			137	千円
内訳	国県支出金 ①			0	千円			0	千円
内訳	地方債 ②			0	千円			0	千円
内訳	その他特財 ③			0	千円			0	千円
内訳	一般財源 (a)-①-②-③			22	千円			137	千円
国県支出金の内容									
その他特財の内容	受益者負担	○ 有　○ 無		前回の改定時期					
その他特財の内容	その他								
人件費	正規職員	0.15	人	1,227	千円	0.15	人	1,286	千円
人件費	その他の職員	0	人	0	千円	0	人	0	千円
人件費	人件費合計(b)	0.15	人	1,227	千円	0.15	人	1,286	千円
トータルコスト (a)+(b)				1,249	千円			1,423	千円
単位当たりコスト 対象数	定義	ホームページの閲覧件数			単位	ホームページの閲覧件数			単位
単位当たりコスト 対象数	対象数			35,002	件			39,811	件
単位当たりコスト	総事業費／対象数			36	円			36	円

評価　（Check）へ

評　価　（Ｃｈｅｃｋ）

進捗状況 〔選択・記入〕	◉ 計画どおり（A） ○ 概ね計画どおり（B） ○ 計画どおり進捗せず（C）	A	**左記判断理由**	ホームページについては、NHK大河ドラマに合わせ特設ページを開設したことや、新たな試みとして講座や展示をオンライン配信したこと、更には伊勢原市遺跡分布地図を公開したことにより閲覧数の増加につながりました。
実施水準 〔選択・記入〕	◉ 他市より高い水準で実施（A） ○ 他市と同水準で実施（B） ○ 他市より低い水準で実施（C） ○ 一律に比較できない事業	A	**他都市の事業内容等**	伊勢原文化財サイトでは市指定文化財や埋蔵文化財のコンテンツだけでなく、浮世絵や絵はがき、紙芝居、文化財紹介映像など多岐にわたる文化財情報を掲載しています。また、その内容にも力を入れており、関連団体が開催する事業の情報提供と合わせ、利便性を高めています。
有効性 〔選択・記入〕	◉ 高い（A） ○ 普通（B） ○ 低い（C）	A	**左記判断理由**	職員による運営であるため、イベント等の情報発信については随時対応しています。反面新たなコンテンツの作成については、内容の検討も含め時間を要することもあります。 ホームページ等による情報発信は受け手が必要な時に直ぐに確認できる点や閲覧数などからニーズを推測することも可能であり、有効性は高いと考えます。
効率性 〔選択・記入〕	◉ 効率的に実施されている（A） ○ 改善の余地がある（B） ○ 抜本的な改善が必要である（C）	A	**左記判断理由**	開設・更新を含めて職員による直営のため、経費は機材の賃借料等、最小限度に抑えています。

取組内容の改善（Action）へ

取組内容の改善　（Ａｃｔｉｏｎ）

所管部長による総評	文化財の常設展示施設を持たない本市にとって、文化財情報をデジタル手法により発信していくことは重要な取組と考えています。文化財公開・活用事業等で制作した文化財のデジタルコンテンツについても、いせはら文化財サイトで公開を行っており、今後は映像を中心としたコンテンツの蓄積を図ることで、いせはら文化財サイトをデジタル・ミュージアムとして充実させていくことを目指していきます。